

平成 27 年度事業報告書

社会福祉法人ウルカ福祉会

1.基本方針

社会生活を営む上で様々な支援を必要とする利用者に対し、安心して楽しく過ごせる場所を提供し、利用者の特性に応じた生活支援・学習支援・作業支援の三領域から社会適応能力を向上させ、社会的な自立を促すとの基本方針に従い支援を行いました。

2.支援の基本理念

利用者の基本的人権を尊重し、温かい愛情の下に利用者の個別的状況に対応し、心身の健康保持と生活能力の向上を図るとの基本理念に従い、支援を行いました。

3.支援内容

基本的な生活習慣	(作業・食事・整容・清掃等)
コミュニケーション支援	(あいさつ・対人対応・行儀作法)
保健衛生	(血圧・体重測定・検温等の健康管理)
外出支援	(社会見学・買い物・レクリエーション等)

○支援センターウルカ

就労継続支援 B 型

利用者の特性に応じた支援を行い、就労することで社会参加している喜びを感じ、工賃を受け取ることで自信と意欲が持てるように、知識及び能力の向上に必要な支援を行いました。

また、工賃規程の見直しを行い、利用者工賃の増額を目指しました。しかし、一部取引先からの受注量が減少した為、結果として現状維持となりましたが、昨年度開拓した取引先との信頼関係を構築し、取引量の増加に繋がりました。更に香川県共同募金会より自動梱包機の助成を頂き整備することで、作業効率の向上を図り、来年度の工賃増額に向けて体制を整えることが出来ました。

今年度は長期休養中の方の退所を含め、利用者 3 名減少しましたが、養護学校卒業生 1 名が 3 月より利用を始めました。

○支援センタードリーム

生活介護

利用者の体調を考慮し、個々の特性に応じた支援を行い、基本的な生活習慣を身に付けることで家庭での自立の促進、グループ作業を中心に働く喜びを感じ、積極性と様々な課題等をやり抜く我慢強さを身に付け、社会生活を営むことが出来るように支援を行いました。

また、戸外の活動としてファミリーレストラン等への外食や近くの運動公園までの散歩等の運動やレクリエーションの充実を図りました。

3 月より養護学校卒業生 1 名が利用を始めました。

放課後等デイサービス

ご家族の方や各関係機関と連携しながら普段の生活している場の支援に結びました。「自分で出来ることを伸ばす」を基本に個人の特性を大事にし、わかりやすい環境の中で自信を持って安心して過ごす事が出来る場所を提供しました。

レスパイト支援（支援を要するお子様を一時的に預かり、家族の負担を軽くする家族支援サービス）も視野に入れ、学習や運動などを提供しながら、利用児童での遠足、ファミリーレストラン等での外食や調理など、楽しみながら社会生活を学べるように日常生活の基本的動作支援や集団生活支援を行いました。

短期入所

ご家族の用事や病気などで、自宅での支援が難しい時に一時的に支援し、また自立を促すために、月に数日間事業所で日中活動や夜間サービスを行いました。現在は毎週金曜日の夜から土曜日の朝の日程で開所しています。利用者の方が満足して過ごして頂けるような支援を目指し、満足頂きました。

日中一時

ご家族の用事・病気などにより、自宅での支援が難しい時に一時的に見守りが必要な方に対し、利用者の日中における活動の場を提供し、高松市、さぬき市、三木町、東かがわ市在中の利用者へのサービス拡充を図りました。

○相談支援事業所ウルカ

現在、支援センターウルカ・支援センタードリームの利用者の計画相談支援、障害児相談支援を行いながら、新規の契約も獲得しました。また他の相談支援事業所からの紹介件数も増え、契約数も順調に推移しています。

4.給食

給食弁当を活用しながら、利用者に食事を提供し、楽しく食事が出来る室内環境を整えました。

5.環境整備

事業所内の美化清掃と整理整頓に努めると共に、特に換気通気に注意し、感染症の流行時期には、利用者にも手洗いや消毒を促し、定期的な健康チェックも実施し健康管理に留意しました。

6.送迎

日頃から車両点検を実施し、送迎時の車両故障はありませんでした。

7.教養娯楽整備

休憩時間やレクリエーションに楽しく過ごせるよう、共同募金の歳末たすけあい助成を活用し短期入所用の液晶テレビを整備しました。

8.安全管理

利用者の特性を把握し、安全を第一に考えると共に、嘱託医と常に連絡を取り、家族との連携を深め、疾病等の予防に努めました。今年度もインフルエンザの流行がありましたが、職員の努力もあり施設においては蔓延することはありませんでした。

支援中や送迎時にヒヤリハットや事故の無いように、日頃から職員間で情報を共有し、利用者が安全に過ごし、帰宅できるようにしました。しかし、残念ながら委託している送迎ルートで車両の追突事故が1件発生しましたが、利用者に怪我がなかったことが幸いでした。

9.防災計画

非常災害に備える為、防災非難等に関する計画を立案し、年に2回総合訓練、消防設備点検を行いました。

10.標準日課

○支援センターウルカ

8：30～10：00	出勤・送迎・準備・作業
10：00～10：15	朝の体操・清掃
10：15～12：00	作業等
12：00～13：00	昼食・休憩
13：00～15：15	作業等（途中休憩・午後の清掃）
15：15～16：00	作業・片付け・各方面送迎
16：00～17：30	片付け等・各事業会議、ケース等

○支援センタードリーム

8：30～10：00	出勤・送迎・準備・作業
10：00～10：15	朝の体操・清掃
10：15～12：00	生活訓練・作業等
12：00～13：00	昼食・休憩
13：00～15：15	レクリエーション・作業等・ 放課後等デイサービス送迎
15：15～16：00	作業・片付け・各方面送迎・ 放課後等デイサービス支援
16：00～18：30	片付け等・各事業会議、ケース・ 放課後等デイサービス送迎
18：30～19：00	片付け等・各事業会議、ケース

11.まとめ

経営基盤を安定させる為、来年度の新規事業着手に向け事務所、応接室や職員用の更衣室等を増築し、準備を進めています。就労継続支援 B 型では、事情により長期休養中の方を含めた 3 名の方が退所されましたが、就労継続支援 B 型と生活介護に 3 月養護学校を卒業した 2 名の方が利用を始めました。法人全体としては今年度も特に大きな問題もなく、順調に推移しています。